

令和8年8月10日

担当 精神保健福祉センター

内線 5701

令和7年の相模原市の自殺に関する統計について

この度、神奈川県警察本部から令和7年（令和7年1月から同年12月まで）における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況を、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

なお、今回の統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

統計の主な内容（詳細は、別紙統計資料をご覧ください。）

- 令和7年における市内の自殺者数は、109人となっている。
- 年代別では、50歳代が最も多く、次いで60歳代の順となっている。
- 男女別では、男性が60.6%を占めている。
- 職業別では、無職者が53.2%を占めている。
- 原因・動機別では、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題の順となっている。
- 自殺者の22.9%に自殺未遂歴がある。

令和7年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から令和7年(令和7年1月から同年12月まで)の自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、相模原市分の集計・分析を行ったので、その結果を報告する。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年齢階級別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

※割合(%)については小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

令和7年の相模原市内の自殺者数は、前年から23人減少し、109人となった。

自殺死亡率は、前年から3.1ポイント減少した。また、5年平均の自殺死亡率の推移では、前年の5年平均から0.3ポイント減少となっている。(表1, 表2, 図1)

< 表1. 自殺者数・自殺死亡率の推移 >

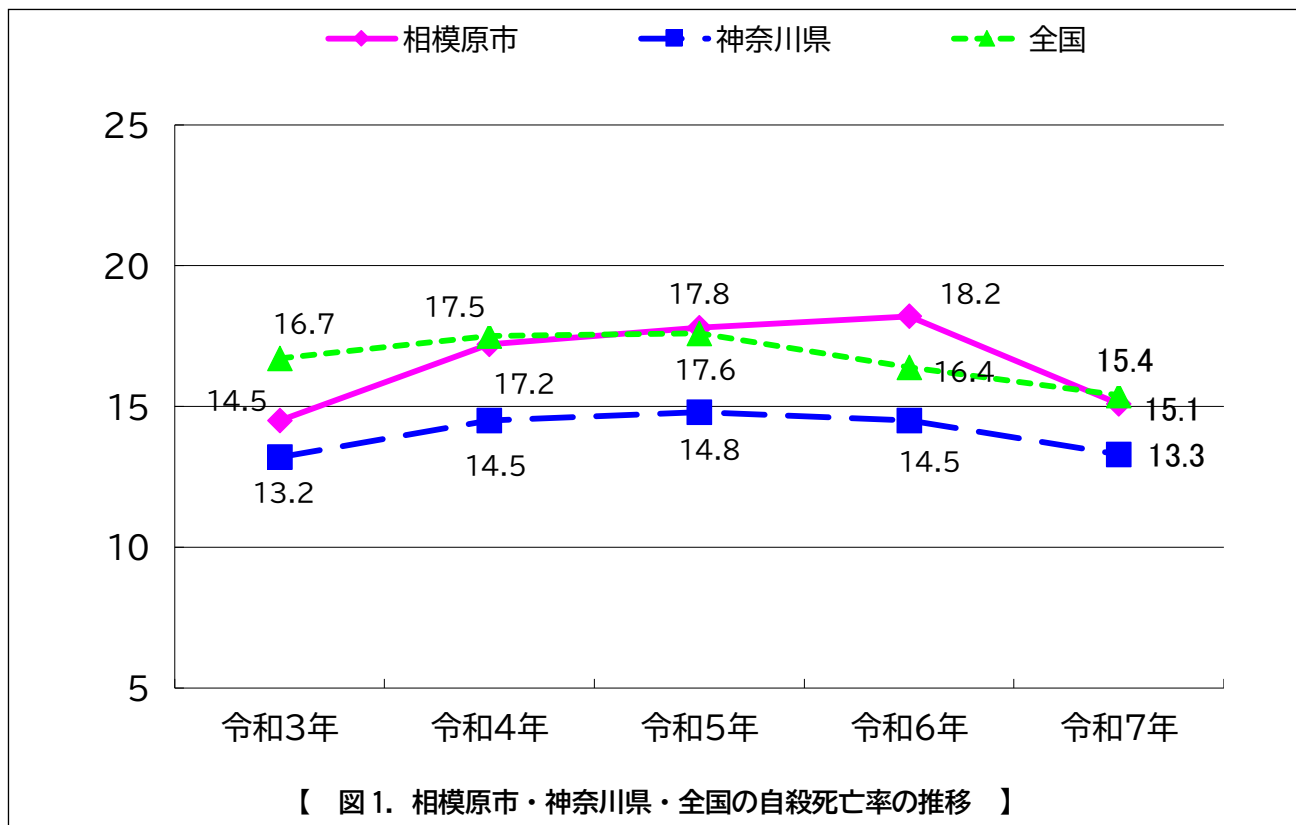
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
相模原市自殺者数(人)	105	125	129	132	109
相模原市自殺死亡率	14.5	17.2	17.8	18.2	15.1
神奈川県自殺者数(人)	1,222	1,337	1,366	1,342	1,231
神奈川県自殺死亡率	13.2	14.5	14.8	14.5	13.3
全国自殺者数(人)	21,007	21,881	21,837	20,320	19,188
全国自殺死亡率	16.7	17.5	17.6	16.4	15.4

※自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数

※全国の自殺者数及び自殺死亡率は、毎年3月発表の厚生労働省資料から抜粋

< 表2. 自殺死亡率の推移(5年平均) >

	平成29-令和3年	平成30-令和4年	令和元-5年	令和2-6年	令和3-7年
相模原市自殺死亡率	14.0	14.1	15.3	16.9	16.6



2 自殺者の年齢階級別・男女別状況

令和7年の年代別自殺者数は、50歳代が26人で全体の23.9%と最も多くなっている。前年と比較すると、60歳代は19人で全体の17.4%となり、前年から9人、9.8ポイントの増加となった。一方、20歳代は10人で全体の9.2%となり、前年から11人、6.7ポイントの減少となった。また、80歳以上は6人で全体の5.5%となり、前年から11人、7.4ポイントの減少となった。(表3)

男女別自殺者数の割合は、男性が60.6%を占めている。(表4)

男性は50歳代が最も多く17人、女性も50歳代が最も多く9人となっている。(図2, 図3)

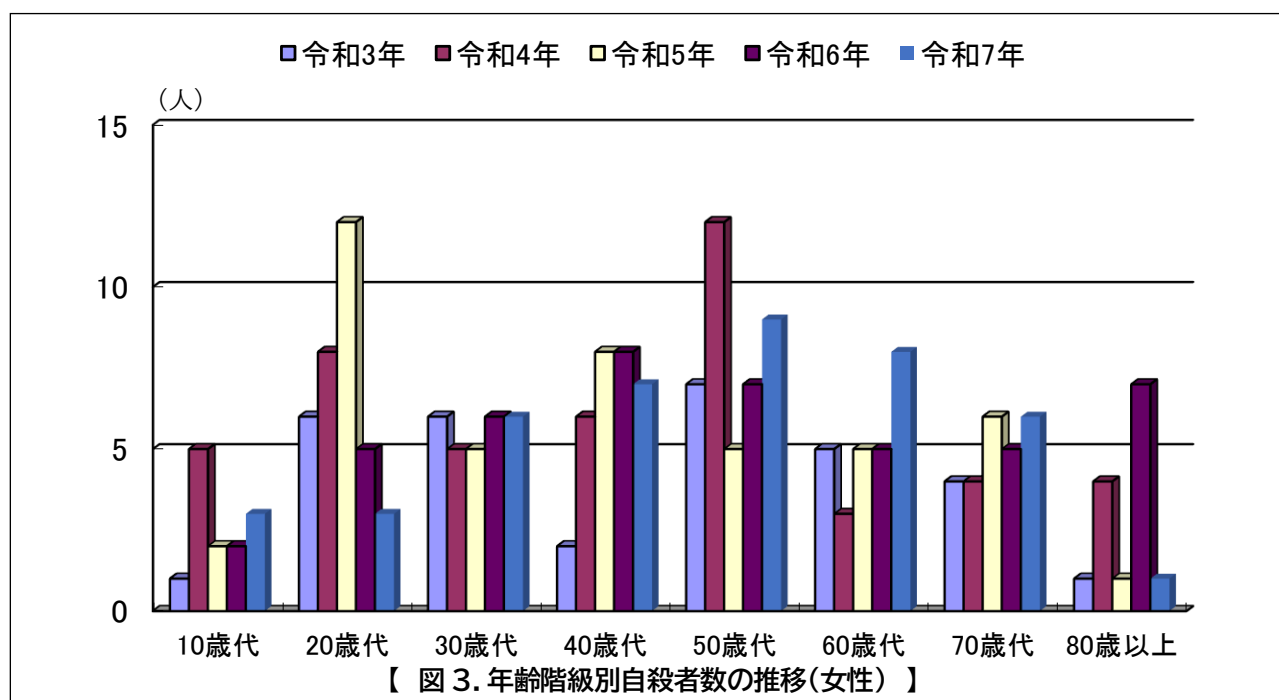
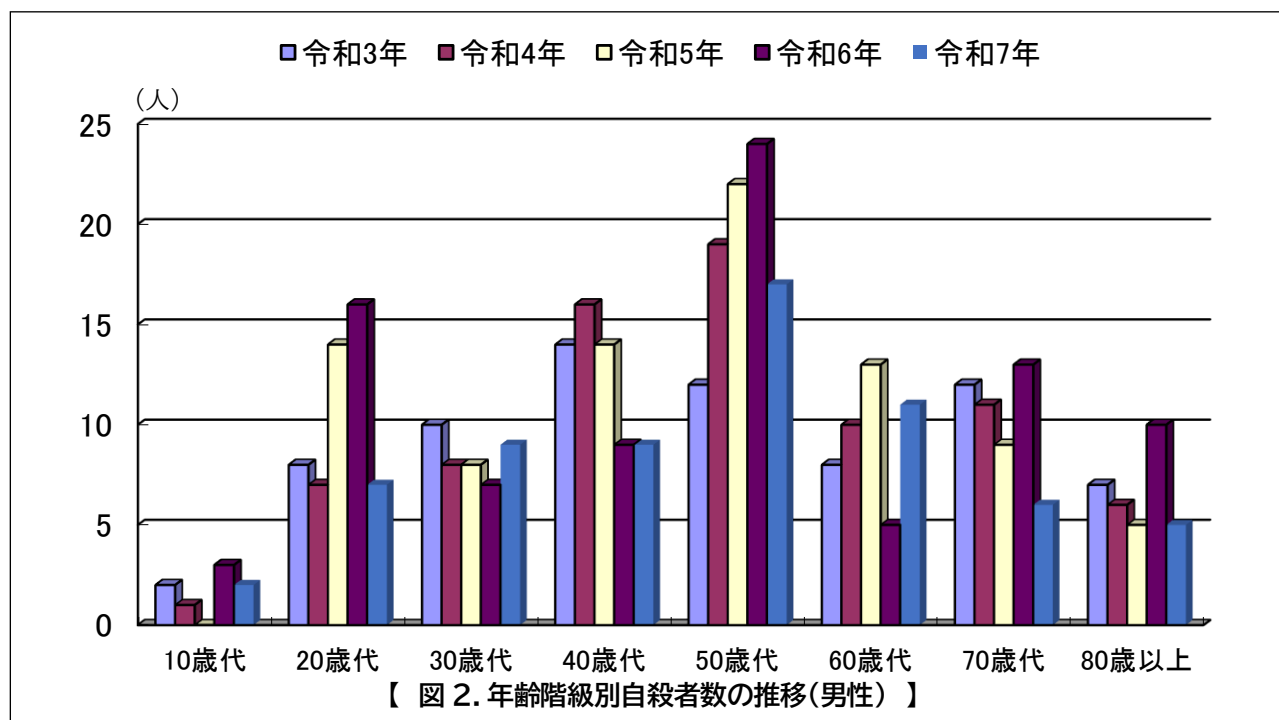
年齢階級別自殺者の男女割合は、10歳代、70歳代を除く年代においては、男性が上回っている。(図4)

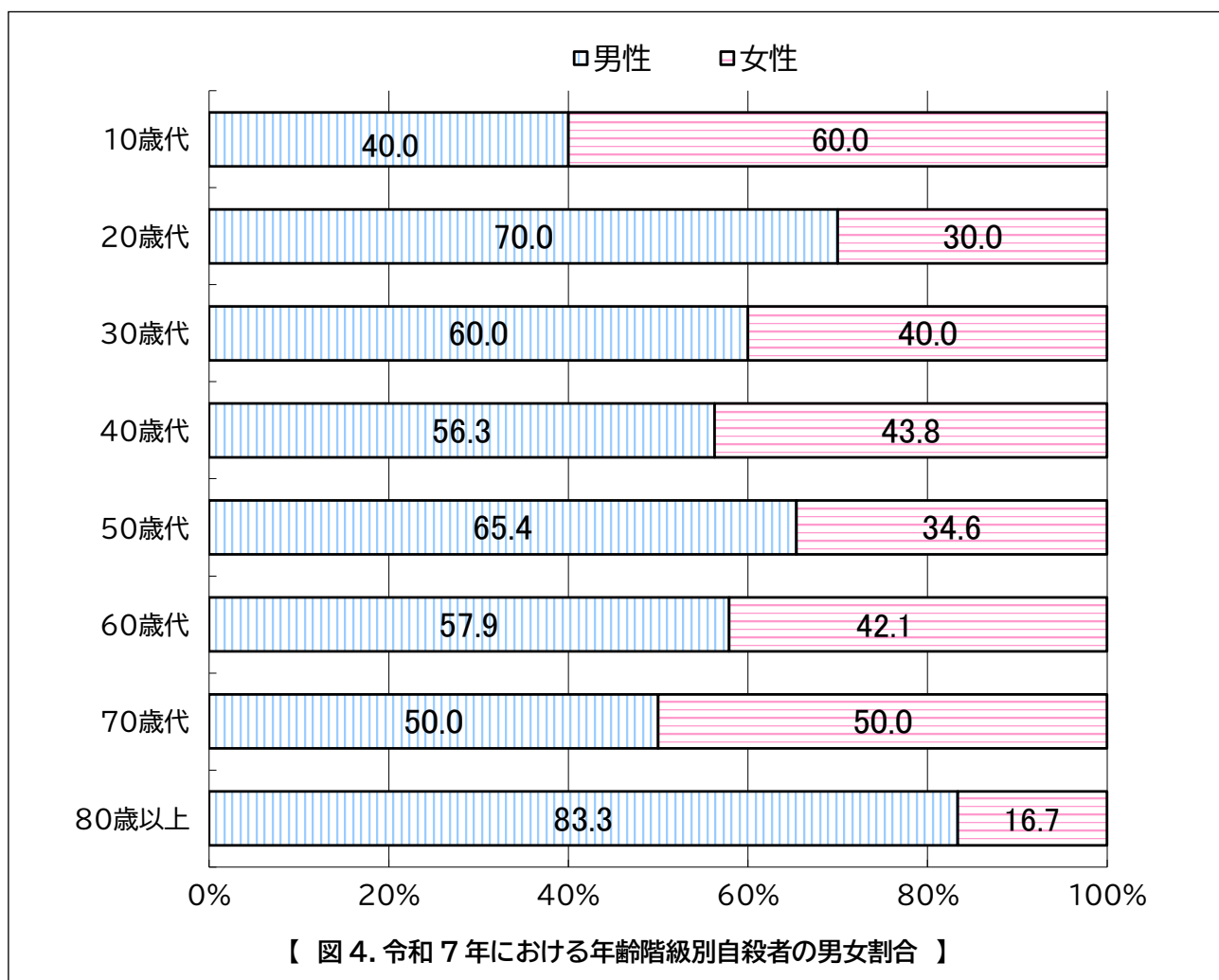
< 表 3. 年齢階級別自殺者数と割合 >

	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
10 歳代	3	2.9	6	4.8	2	1.6	5	3.8	5	4.6
20 歳代	14	13.3	15	12.0	26	20.2	21	15.9	10	9.2
30 歳代	16	15.2	13	10.4	13	10.1	13	9.8	15	13.8
40 歳代	16	15.2	22	17.6	22	17.1	17	12.9	16	14.7
50 歳代	19	18.1	31	24.8	27	20.9	31	23.5	26	23.9
60 歳代	13	12.4	13	10.4	18	14.0	10	7.6	19	17.4
70 歳代	16	15.2	15	12.0	15	11.6	18	13.6	12	11.0
80 歳以上	8	7.6	10	8.0	6	4.7	17	12.9	6	5.5
総計	105	100	125	100	129	100	132	100	109	100

< 表 4. 男女別自殺者数と割合 >

	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
男性	73	69.5	78	62.4	85	65.9	87	65.9	66	60.6
女性	32	30.5	47	37.6	44	34.1	45	34.1	43	39.4
総計	105	100	125	100	129	100	132	100	109	100





3 自殺者の職業別状況

令和7年の自殺者の職業別状況は、「無職者」が58人で全体の53.2%を占めている。前年と比較すると「無職者」は22人減少した。また、「有職者」は42人で前年から2人減少し、「学生・生徒等」も5人と前年から2人減少した。(表 5, 図 5)

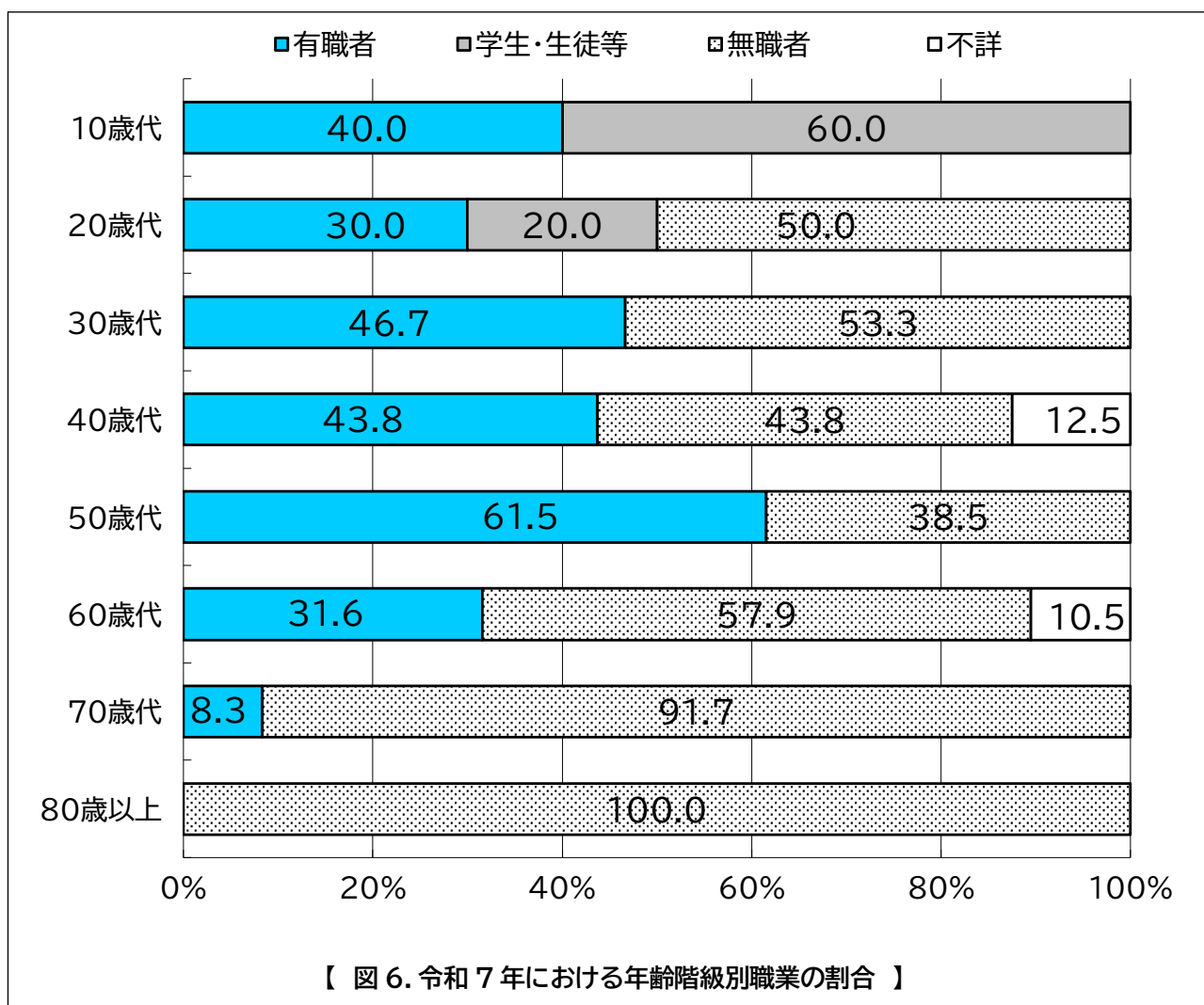
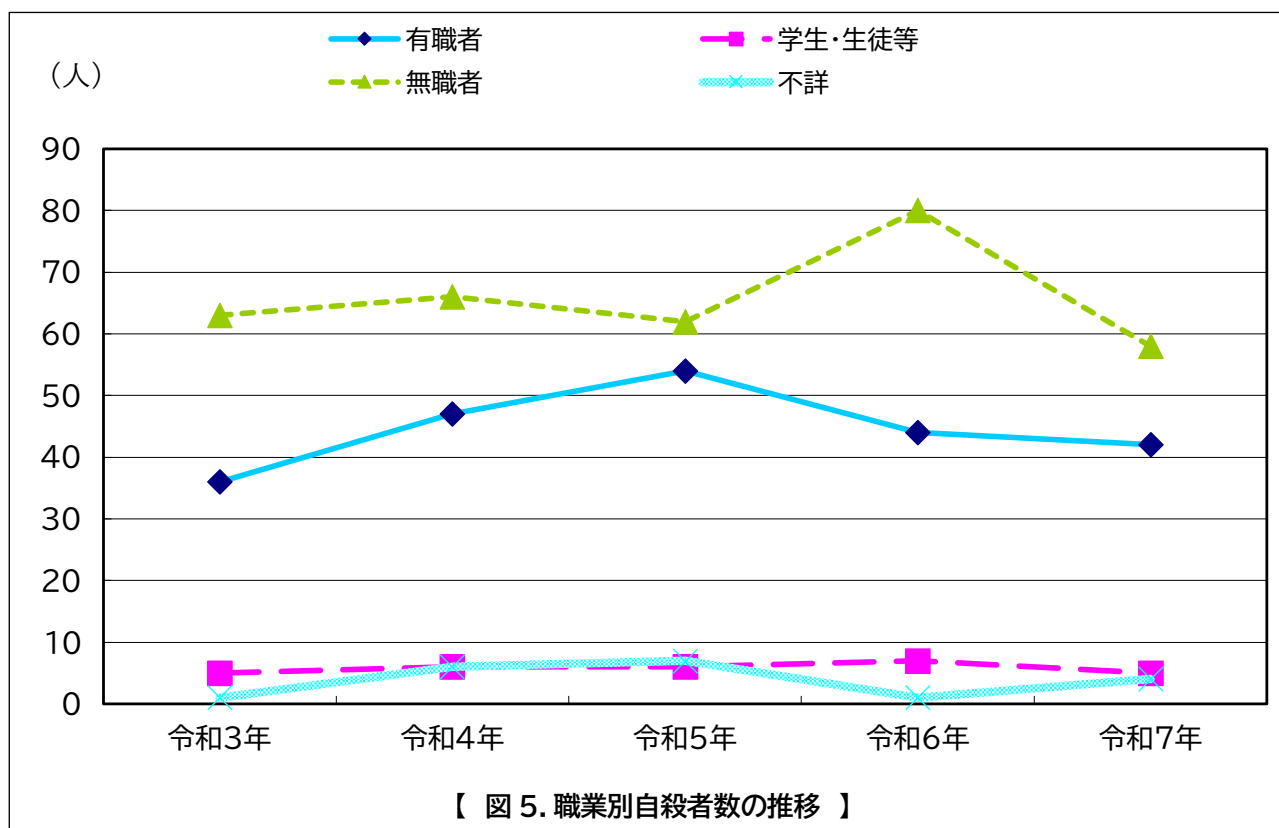
年齢階級別職業の割合は、50 歳代で「有職者」の割合が60%以上と高くなっている。(図 6)

< 表 5. 職業別自殺者数と割合 >

	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
有職者	36	34.3	47	37.6	54	41.9	44	33.3	42	38.5
学生・生徒等	5	4.8	6	4.8	6	4.7	7	5.3	5	4.6
無職者	63	60.0	66	52.8	62	48.1	80	60.6	58	53.2
不 詳	1	1.0	6	4.8	7	5.4	1	0.8	4	3.7
総計	105	100	125	100	129	100	132	100	109	100

※有職者に関して、令和3年までは「自営業者」と「被雇用者・勤め人」と区分が分かれていたが、令和4年からは「有職者」に統合された。

※無職者には、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金受給者、雇用保険受給者、生活保護受給者、ホームレス、その他の無職者等が含まれる。



4 自殺の原因・動機

令和7年の原因・動機別の自殺者の割合は、「健康問題」47.1%、「経済・生活問題」17.2%、「家庭問題」12.6%の順で高くなっている。(表 6, 図 7, 図 8)

年齢階級別では、全ての年代で「健康問題」が第1位となっている。(表 7)

職業別では、有職者では「健康問題」の次に「勤務問題」が多く、学生・生徒等では「学校問題」が最も多い。(図 9)

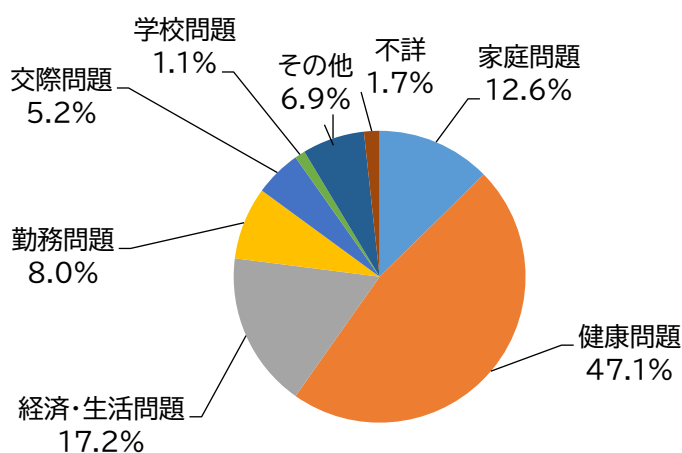
無職者のうち「失業者」では「経済・生活問題」が多くなっている。(図 10)

原因・動機の判断材料としては、自殺者の58.9%が「その他の生前の言動、家族等の証言」で判断材料を残している。(表 8)

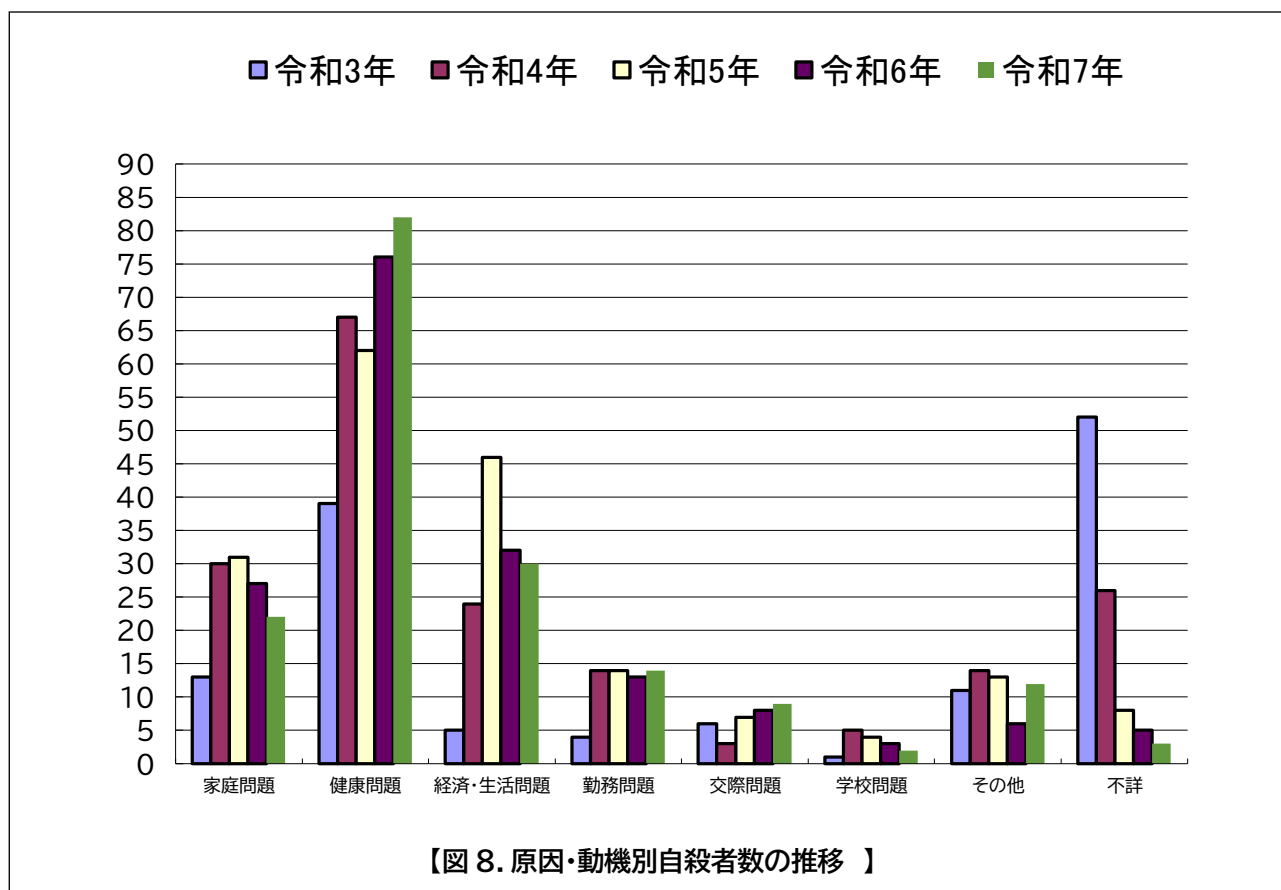
< 表 6. 原因・動機別自殺者数と割合 >

	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
家庭問題	13	9.9	30	16.4	31	16.8	27	15.9	22	12.6
健康問題	39	29.8	67	36.6	62	33.5	76	44.7	82	47.1
経済・生活問題	5	3.8	24	13.1	46	24.9	32	18.8	30	17.2
勤務問題	4	3.1	14	7.7	14	7.6	13	7.6	14	8.0
交際問題	6	4.6	3	1.6	7	3.8	8	4.7	9	5.2
学校問題	1	0.8	5	2.7	4	2.2	3	1.8	2	1.1
その他	11	8.4	14	7.7	13	7.0	6	3.5	12	6.9
不詳	52	39.7	26	14.2	8	4.3	5	2.9	3	1.7
総計	131	100	183	100	185	100	170	100	174	100

※自殺の原因・動機に関して、令和3年までは、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能とされていたが、令和4年からは、家族等の証言から考え得る場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能となった。このため、単純に比較することはできない。割合は計上数総計から算出。



【 図 7. 令和 7 年における原因・動機の割合 】

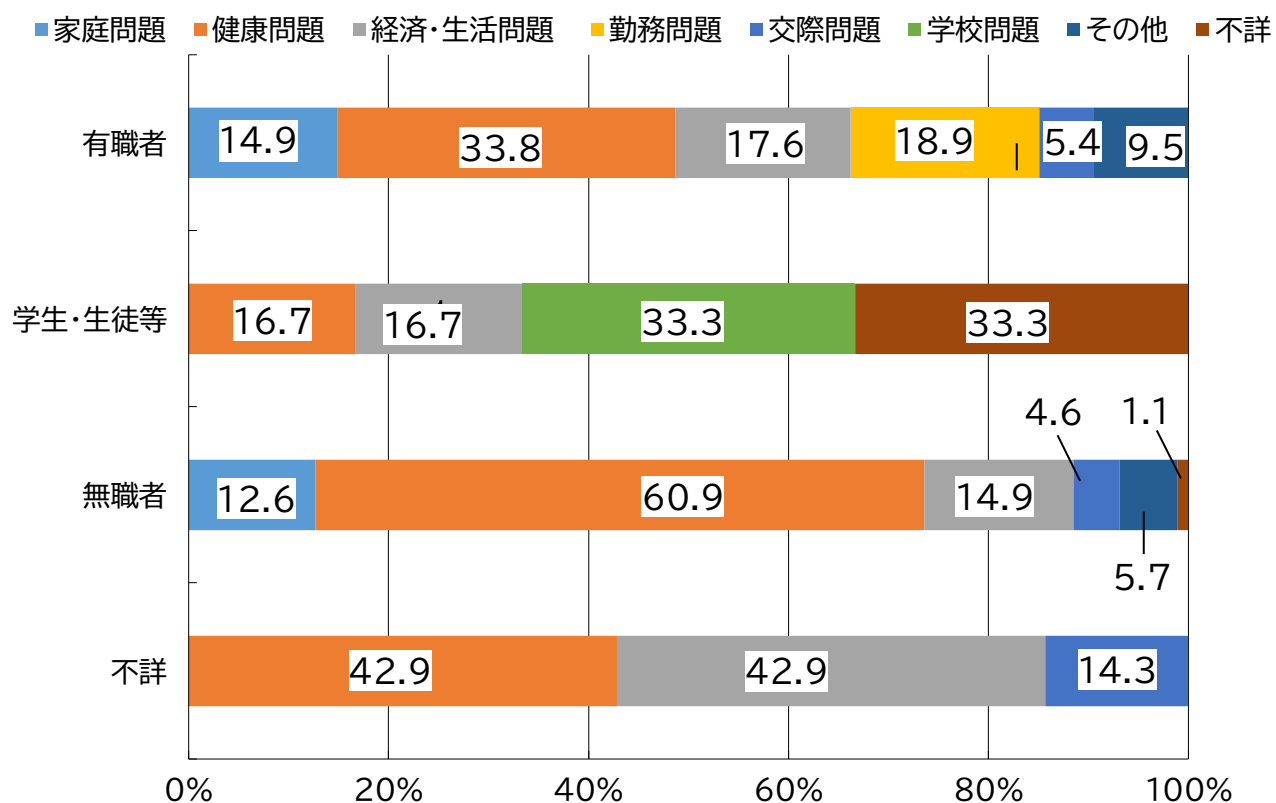


< 表 7. 令和 7 年における年齢階級別の原因・動機順位 >

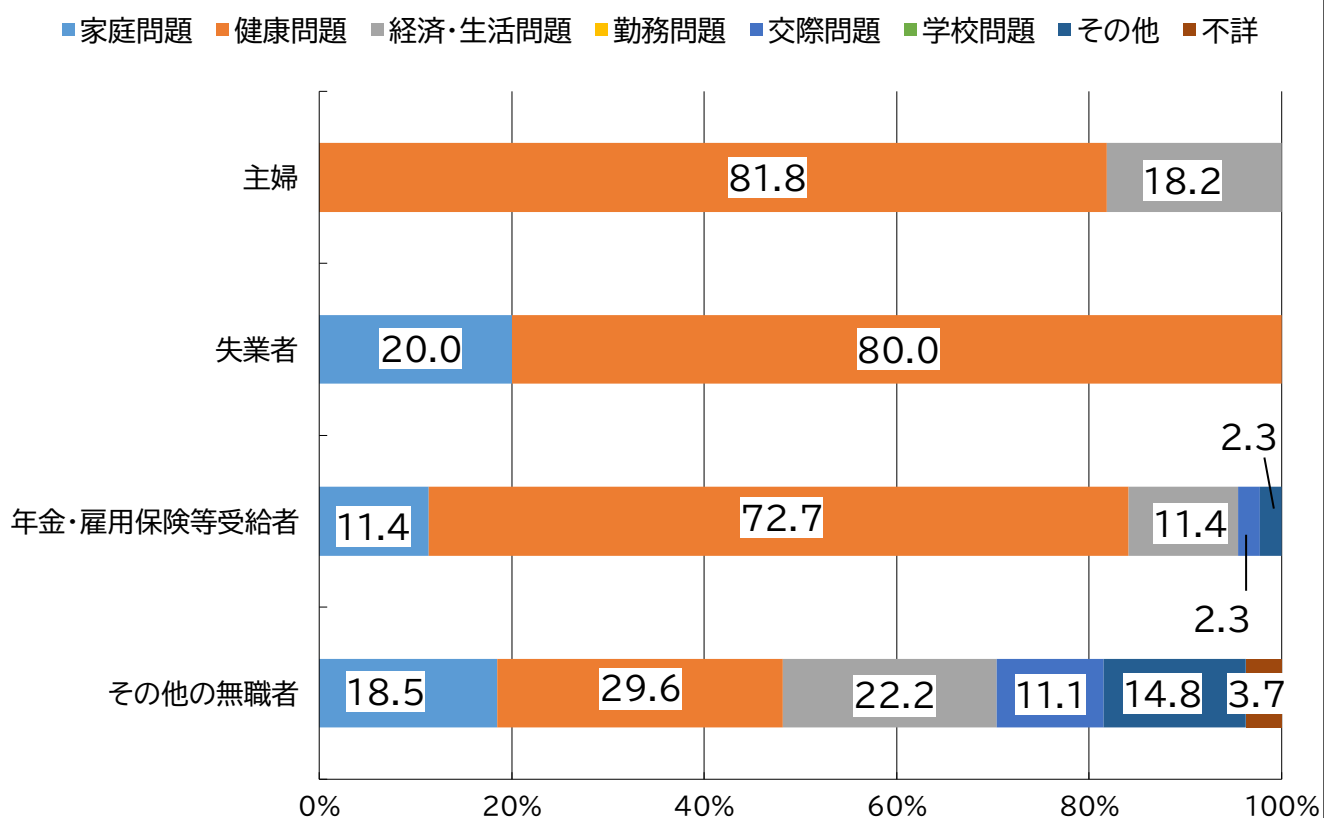
	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)	原因	割合 (%)
10 歳代～ 20 歳代	健康問題	33.3	家庭問題、経済・生活問題、 交際問題、学校問題、不詳	9.5		
30 歳代	健康問題	34.5	経済・生活問題	20.7	勤務問題、 家庭問題	13.8
40 歳代	健康問題	38.5	勤務問題、交際問題	15.4		
50 歳代	健康問題	44.7	経済・生活問題	21.1	家庭問題	18.4
60 歳代	健康問題	57.1	経済・生活問題	25.7	家庭問題	8.6
70 歳代	健康問題	66.7	家庭問題、経済・生活問題	16.7		
80 歳以上	健康問題	85.7	家庭問題	14.3		
全年代	健康問題	47.1	経済・生活問題	17.2	家庭問題	12.6

※「その他」については、表の順位に含めなかった。

※同じ順位に複数の原因・動機がある場合は、各項目の割合を表に記載し、それより下位は記載しなかった。



【 図9. 令和 7 年における職業別原因・動機の割合 】



【 図 10. 令和 7 年における無職者の原因・動機の割合 】

< 表 8. 原因・動機の判断材料 >

	令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)	計上数 (件)	割合 (%)
遺書	28	26.2	35	24.1	51	33.1	48	29.8	49	34.8
自殺サイト・メール等 書き込み	3	2.8	8	5.5	7	4.5	7	4.3	6	4.3
その他の生前の言 動、家族等の証言	24	22.4	76	52.4	88	57.1	101	62.7	83	58.9
該当なし	52	48.6	26	17.9	8	5.2	5	3.1	3	2.1
総計	107	100	145	100	154	100	161	100	141	100

※原因・動機の判断材料は、自殺者一人につき複数計上されている。割合は計上数総計から算出。

5 自殺未遂歴の状況

令和7年の自殺者の22.9%に自殺未遂歴があり、男女別では、男性が19.7%、女性が27.9%であった。
(表 9)

< 表 9. 自殺未遂歴の状況 >

		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年		令和 7 年	
		自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
未 遂 歴 あ り	男性	18	24.7	14	17.9	12	14.1	13	14.9	13	19.7
	女性	10	31.3	17	36.2	17	38.6	9	20.0	12	27.9
	総計	28	26.7	31	24.8	29	22.5	22	16.7	25	22.9
未 遂 歴 な し	男性	50	68.5	52	66.7	59	69.4	71	81.6	43	65.2
	女性	20	62.5	25	53.2	21	47.7	36	80.0	29	67.4
	総計	70	66.7	77	61.6	80	62.0	107	81.1	72	66.1
不 詳	男性	5	6.8	12	15.4	14	16.5	3	3.4	10	15.2
	女性	2	6.3	5	10.6	6	13.6	0	0	2	4.7
	総計	7	6.7	17	13.6	20	15.5	3	2.3	12	11.0